

鳥海青児 美の交遊

本展では、没後 50 年を迎える洋画家、鳥海青児（1902-1972）の作品を中心に、彼と親交のあった画家たちの作品を紹介します。

神奈川県に生まれた鳥海は、中学時代から洋画を始め、関西大学在学中の 1924（大正 13）年に春陽会に初入選しました。本格的に絵画を学ぶため 1930（昭和 5）年には、念願であった渡欧を果たします。各地を巡り、欧州のみならずアフリカ北部のアルジェリアに滞在するなど、多様な風土や文化に影響を受けました。

帰国後、砂を絵の具に混ぜて描いた作品を発表して注目を浴び、渡欧先で出会った造形思考をもとに国内外の多くの風景画を手がけています。

その後、1943（昭和 18）年には春陽会を退会して独立美術協会会員となり、同会を活動の場としました。

こうした鳥海の画業には、さまざまな画家たちとの出会いがありました。その中には、春陽会で出会った三岸好太郎、中川一政らをはじめ、里見勝蔵や林武ら独立美術協会の画家たちがいます。鳥海は彼らと、取材旅行や展覧会を開催するなどして交流を重ねました。

独特のマチエールで表現された鳥海の風景画や静物画とあわせて、鳥海と美の交遊を深めた画家たちの作品をお楽しみください。



鳥海青児「アルゼリー風景」1932年
油彩・キャンバス



三岸好太郎「印度人の男」
ガッシュ・紙

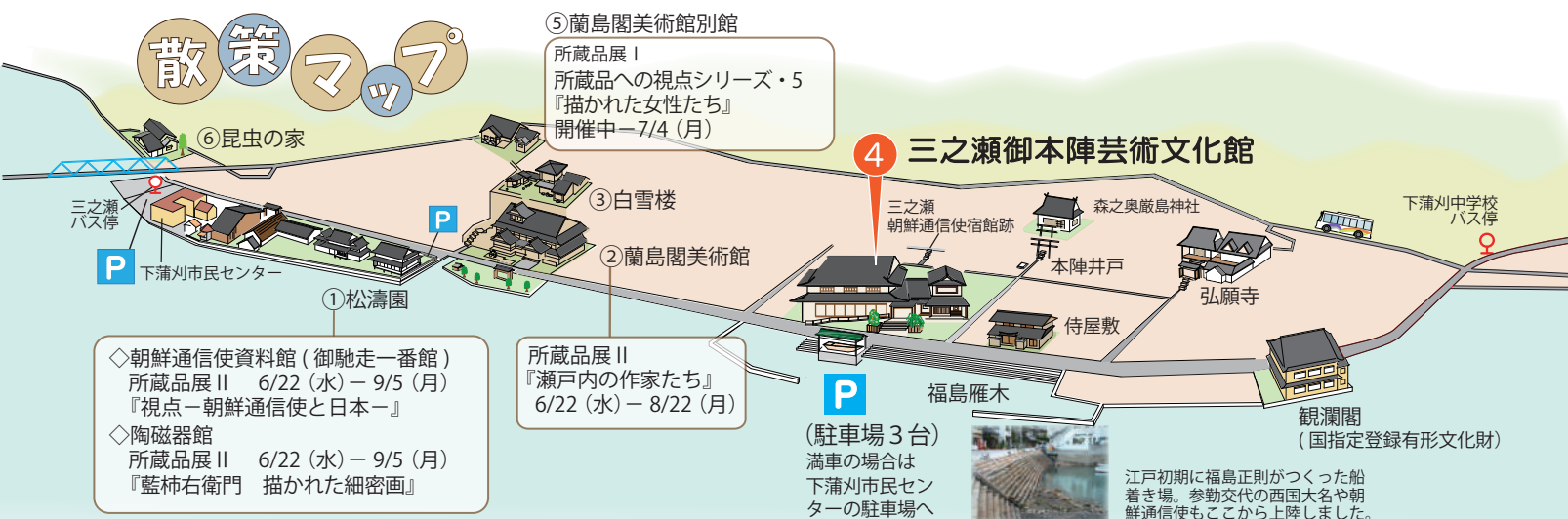
同時開催

須田国太郎 美の探求

京都出身の須田国太郎（1891-1961）は、独立美術協会で活躍した洋画家の一人です。彼は、動物や裸婦、風景などを独自の視点で捉え、時には同じ対象を何度も描いて、美を探求しました。本展では、油彩画のほか、素描や水彩画も紹介します。



須田国太郎「樹に止まった鷲」紙本墨画淡彩



広島市内から車で約60分

呉市内より国道 185 号線を竹原方面へ。安芸灘大橋（有料）を渡った最初の島が下蒲刈島です。下蒲刈市民センター前の無料駐車場をご利用できます。

指定施設にて 1,000 円以上ご利用の方に安芸灘大橋の帰りの通行券を進呈！
詳しくは、くれ観光情報プラザ TEL:0823-23-7845 まで

広島市内からバス利用の場合

広島バスセンター（6 番のりば）から、さんようバス運行の蒲刈・豊浜・豊線

「沖友天満宮前行」バスに乗りし「下蒲刈中学校」を下車。または「見戸代」

JR 呉線から電車・バス利用の場合

JR 呉線から広島または仁方駅を下車。駅前バス停から瀬戸内産交運行の「宮農センター・沖友天満宮行き」バスに乗り。下蒲刈中学校または「三之瀬」で下車。バスは上下線とも毎時 1 本運行しています。

[バスに関するお問い合わせ：瀬戸内産交（株）TEL 0823-70-7051]

三之瀬御本陣芸術文化館



Instagram

Facebook



QR コードからアクセスできます！

新型コロナウイルス感染予防に関するお客様へのお願い

- 発熱や軽度でも咳・のどの痛みなどの症状がある場合は、ご来館をお控えください。
 - ご入館の際は、マスクの着用とアルコール消毒をお願いします。
 - 入館時の検温にご協力下さい。
 - 新型コロナウイルス感染状況によっては、今後予定しております展覧会の変更または臨時休館をする場合がございます。
- 最新の情報は、HP をご覧いただくか当館にお問い合わせください。